

令和4年第4回定例会・一般質問

○日 時 令和4年12月7日（水）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	河村 仁志	<p>1. 観光施策について（企画課、教育課）</p> <p>(1) 平成30年9月の一般質問で、智頭ファンの獲得（総合戦略事業）智頭町に訪れていただく仕掛け作りを行い、観光入込客数の増加を図ると記載してあるが事業の計画性は、観光協会と石谷家住宅の補助金の在り方に問題があるのではないかと質問した。観光協会の拠出金には根拠があると答弁頂いた。現在の観光協会への町長の考え方を問う。</p> <p>(2) 因幡街道ふるさと振興財団をもう一度原点に戻って、試算表も改め、そういう連携する会を早急に持ちたいと答弁を頂いた。その後の金児町政ではどのような改善なり対策がなされどのように変化したのか。</p> <p>(3) 石谷家住宅の収支決算書での中身で前回の一般質問で繰越金も枯渇する状況危機感を感じると答弁を頂いた。入館者も年々減少今後の対応は。</p> <p>(4) ちえの森ちづ図書館等も含めた観光施策の事業を町全体チームとして多面的に行うべきではないか。</p>	9:00
2	安道 泰治	<p>1. 農業・観光交流の振興と支援について（山村再生課、企画課）</p> <p>(1) 耕作放棄地の拡大・農業機械や資材、肥料、苗の値上がりなど農業を取り巻く環境は厳しくなり、離農や縮小を考える農家対策を問う。</p> <p>(2) 担い手の高齢化が進んでいる作業軽減策として質問したハードフェスク（冬芝）の検証と今後の進捗を問う。</p> <p>(3) 農産物の販売ルートの拡大の一環として他県との農業交流・観光交流をする考えはないか。</p>	9:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	宮本 行雄	<p>1. 「智頭町地域福祉計画」の項目6の健康診査・検診受診率について（福祉課）</p> <p>智頭町では、「智頭町地域福祉計画」を策定し、さまざまな取り組みの中で、人と人、地域と地域をつなぎ、地域・保健・医療・福祉等の連携のもと地域包括ケアを構築し、安心して暮らせる住みよい「福祉の町」をめざすとある。</p> <p>(1) 特定健康診査の受診率向上の要因について問う。</p> <p>(2) さらなる受診率向上にむけて、周知・受診勧奨の方法について問う。</p> <p>(3) 受診対象者への、案内通知書および同封の資料について問う。</p> <p>(4) 未受診者専用、土日の集団健診の実施について問う。</p> <p>(5) がん検診の受診率向上にむけた取り組みについて問う。</p> <p>(6) 一人でも多くの町民の方に受診していただくことが「福祉の町」につながると思うが、町長の考えを、問う。</p>	10:35
4	田中 賢	<p>1. 智頭病院の独自性のある取り組みについて（智頭病院）</p> <p>(1) 初動負荷トレーニングマシンの導入について</p> <p>智頭病院でのリハビリテーションの一助に初動負荷トレーニングマシンを導入して、患者の期待に応えていく考えは。</p> <p>(2) 現在のリハビリテーションは、患者一人に一人の医療スタッフが指図しているが、トレーニングマシンの導入により人件費等の削減につながるのではないか。</p>	11:10

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
5	大河原 昭洋	<p>1. 荒廃農地防止対策について（山村再生課） 農業従事者の高齢化や後継者不足による農業人口の減少により荒廃農地が増加している。さらにコロナ禍や円安に加え、ロシアのウクライナ侵攻などの要因が重なり、原油や食品、あらゆる資材の高騰が続いている。</p> <p>(1) 農業や畜産業に必要な生産資材が高騰しているが現状をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 農家の生産意欲が減退し、離農者が増えることも懸念されるが何か対策は考えているのか。</p> <p>2. 学力調査について（教育課） 子供たちの学力状況を把握する目的で「全国学力・学習状況調査」が小中学校の最高学年を対象に平成19年度から実施されている。</p> <p>(1) 本町の児童・生徒の学力の現状をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 学力向上への具体的対策を今後どのように進めていくのか。</p>	13:00
6	岡田 光弘	<p>1. 智頭らしい福祉の実現について（福祉課） 高齢化が急速に進む本町において、健康寿命の延伸は重要な課題と認識する。</p> <p>(1) 主要計画のなかで「健康ちづ21」の計画の進捗について現状と課題はどうか。</p> <p>(2) 住民力を生かした取り組みの中で「いきいき百歳体操」は有効と考えるが、今後全町に展開していくための課題と展望はどうか。</p> <p>(3) 智頭町高齢者福祉計画・介護保険事業計画でも創設が計画されている「介護ボランティアポイント制度」は有効と考えるが、現在までの状況と今後の見通しについて。</p> <p>2. 町民歌の普及による町づくり推進について（教育課、総務課） 昭和59年に制定された「智頭町民歌」について制定されてすでに38年あまり経過した「智頭町民歌」ですが、郷土愛醸成や和づくりにも有効と考える。</p> <p>(1) 教育現場での現在までの定着の現状と今後の活用の方角性について。</p> <p>(2) 町民への現在までの定着の現状と、今後まちづくりに生かしていく方策は検討できないか。</p>	13:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
7	仲井 莖	<p>1. 旧統一教会との関わりについて（総務課、教育課）</p> <p>(1) 町として、旧統一教会及び関連団体とイベント等を通じて関わりは今までであったのか。</p> <p>(2) 旧統一教会に対して、町としての今後の対応は。</p> <p>(3) 文科省より、学校関係者に対して「宗教2世への問題は新たな問題として認識しなければならない」との通知が出されているが、現在どのような対策を考えているのか。</p> <p>2. 不登校児の対応について（教育課）</p> <p>(1) 現在の状況は。</p> <p>(2) 学校復帰を目指す施設である「みどりが丘教育支援センター」とは別に、フリースクールのような、学校以外で児童・生徒が安心して学習できる場を設ける考えはないのか。</p>	14:25
8	谷口 翔馬	<p>1. 商工労働対策について（企画課）</p> <p>(1) 現在、町内事業者の状況把握された中での町長の認識を問う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の長期化、急激に進む円安で価格転嫁が困難な状況にあり経営上の影響を受けている事業者への支援として、原材料等の購入に係る上昇分を補填する支援策を実施する考えはないか。</p> <p>2. 不要な備品等について（総務課）</p> <p>(1) 大型箱物改修が続いており、また今後も遊休施設の活用や役場本庁舎の改修が控えている中、不要な備品等の管理方法に苦慮していると思われるが、今後の方針及び改善方法について町長の所見を問う。</p>	15:00
9	波多 恵理子	<p>1. 農業振興について（山村再生課）</p> <p>現在農業をとりまく環境は、農業従事者の高齢化、担い手不足に加えて近年の肥料等の高騰、米価下落などにより、大変厳しいものとなっている。</p> <p>(1) 「人・農地チーム会議」の取り組みの一環として、平成29年に農家全戸アンケートを実施し、それを元に集落に出向き座談会を行い、集落単位の人・農地プランの策定を行っているが、コロナ禍により思うように進んでいないとのこと。座談会をより加速する考えはないか。</p> <p>(2) 令和3年度農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想の中で、新規就農者の確保・育成にむけ、「人・農地チーム会議」の各構成機関はもとより、智頭町農業再生協議会、鳥取県指導農業士と連携を図り推進していくと明記しているが現状は。</p>	15:40

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。